

施策名：人に優しい安全で安心な交通社会の実現

事業名	担当課・室名	ページ
優しいマナーと思いやりの運転県おおいた推進事業	生活環境企画課	1 / 3
交通事故防止総合対策事業	交企画課、交通指導課	1 / 3
認知症等早期発見支援事業	運転免許課	1 / 3
共生のまち整備事業	建設政策課	2 / 3
(単) 身近な道改善事業	道路保全課	2 / 3
交通安全事業	道路保全課	2 / 3
交通安全施設整備費	交通規制課	3 / 3
思いやりの横断歩道整備事業	交通規制課	3 / 3
交通事故遺児救済援護活動助成事業	生活環境企画課	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
1	優しいマナーと思いやりの運転県おいた推進事業 (R3 ~) 生活環境企画課 自動車や自転車による交通事故の発生を抑制するため、交通事故の状況や世代に応じた交通安全対策を実施する。	①交通マナーアップの促進 横断歩道でのマナーアップと思いやりの連鎖の大切さを発信するための啓発動画の制作 ②自転車交通安全対策の推進 ・自転車条例の更なる周知と自転車保険の加入促進 ・交通安全教材等を活用した、若年層向け交通安全教育の実施 ③高齢者交通安全対策の推進 ・俊敏性・反射能力を測定できる機材を活用した、いきいき交通安全体験講座の開催 ・チラシ、ポスターの作成配布等による運転免許証自主返納の啓発	① 3,121 ③ 606 ② 2,278 ④	高齢者の交通事故件数 目標値 1,050 実績値 913 達成率 113.0%	1,050	1,000	950	A	
			主な活動指標と達成率 高齢者運転免許自主返納者数 目標値 6,500 実績値 4,453 達成率 68.5% [人]		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 高齢者向けに交通マナーアップ動画を制作し、YouTubeに加えてテレビCMや新聞広告等を活用して広報を行うとともに、体験型講座を全市町村で開催することにより、高齢者の交通事故件数の削減を図った。自転車対策については、全世代におけるヘルメット着用に向け、チラシやグッズの配布による啓発に取り組んだ。今後も交通事故の発生状況や世代に応じた交通事故抑止対策を効果的に進める。				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 6,492 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 6,005 (0)	自転車保険加入率 目標値 76.0 実績値 79.2 達成率 104.2% [%]							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
2	交通事故防止総合対策事業 (R4 ~) 交通企画課、交通指導課 交通事故総量を抑止するため、世代に応じた交通安全教育等を実施し、県民の交通安全に対する意識の向上を図る。	①速度違反取締装置の整備 速度違反取締用のレーダースピードメーターの更新整備 ②交通安全教育の充実 各種体験型交通安全教育機器（自転車シミュレータ・歩行シミュレータ・ドライビングシミュレータ）を活用した交通安全教育の実施 ③高齢者の交通事故防止対策 ・75歳以上の運転免許保有者に運転技能検査の案内等を送付(37,951人) ・運転能力診断システム等を活用した講習の実施 ④動画とスクアード・ストレイトを活用した歩行者・自転車等の交通事故防止対策 ・高校生を対象に交通安全に関する動画を募集し、上位7作品をテレビCMや県警公式SNS等の啓発活動に活用(応募数：15校32作品) ・スタントマンを活用したスクアード・ストレイト方式による交通安全教育の実施	① 17,741 ③ 8,067 ② 10,767 ④ 7,879	交通事故死傷者数 目標値 3,800 実績値 2,836 達成率 125.4%	3,800	3,800	2,900	A	
			主な活動指標と達成率 運転能力診断システムによる講習参加人数 目標値 1,528 実績値 1,986 達成率 130.0% [人]		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 老人クラブや事業所、中学校・高校等に交通安全教室等への参加を呼びかけ、世代に応じた交通安全教育を実施するとともに、高校生を対象とした動画コンテストを実施し広報啓発活動を行うことにより、交通安全意識の向上を図ることができた。令和6年度は、各種体験型交通安全教育機器を活用した交通安全教育の更なる充実を図るとともに、改正道路交通法の施行に備え、自転車安全利用に係る周知徹底を図る。				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 44,593 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 44,454 (0)	歩行シミュレータによる講習参加人数 目標値 1,757 実績値 4,597 達成率 261.6% [人]							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
3	認知症等早期発見支援事業 (H28 ~) 運転免許課 認知症等の早期発見・対応により、高齢運転者等の交通事故防止を図るため、免許更新時等に医療的側面から症状の把握、相談等の支援を行う保健師等を運転免許センターに配置する。	①運転免許センターに保健師等を配置(3名) ・高齢者や運転に影響を及ぼすおそれがある一定の病気を有する運転者の免許更新や免許取得等について、相談対応や医療的見地からの指導等を実施。 ・病気の罹患や認知症が疑われる高齢運転者等への問診の実施や医療機関への受診勧奨、免許の自主返納等の勧奨 ・高齢者やその家族等からの免許更新等の相談対応 ・免許返納後の相談対応や地域包括支援センター等への引継ぎ等の支援	① 8,803 ③ ②	自主返納件数、支援センター等引継ぎ件数、診断書提出件数 目標値 900 実績値 1,232 達成率 136.9%	900	900	900	A	
			主な活動指標と達成率 質問票による個別聴取件数 目標値 800 実績値 2,084 達成率 260.5% [件]		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 医療的側面から認知症等の症状の把握、相談等の支援を行う体制を整備して、増加する運転適性相談や診断書提出に対応するとともに、危険運転者の早期発見や免許取消等の適切な措置を実施した。今後は、免許返納者への支援を進めるため、地域包括支援センターをはじめとした関係機関との連携を強化する。				
	予算額 (うち翌年度繰越額) 8,889 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 8,803 (0)	運転適性相談件数 目標値 800 実績値 1,087 達成率 135.9% [件]							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																
4	共生のまち整備事業 （ H3 ～ ） 建設政策課 すべての県民が自立していきいきと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、社会活動への参加を妨げる行動面での障壁を取り除くことを目的に、県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化を推進する。	①歩道等改良 段差解消、歩道面改修、側溝蓋設置、障害物撤去・移設等 ②県有施設改修 スロープ化、多機能トイレ、手すり設置等 ③交通環境整備 視覚障がい者用音響装置、経過時間表示装置	高齢者、障がい者等の社会活動参加を妨げる障壁除去が推進され、共生社会への一助となった。 今後も、県が設置または管理する公共施設のバリアフリー化およびユニバーサルデザイン化を推進する。																
		共生のまち整備事業による歩道の整備延長 (単位: km)																	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 80,000 (7,189) 決算額 (うち国庫支出金) 72,811 (0)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標の達成度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>事業最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画 a</td> <td>249.5</td> <td>249.5</td> <td>249.5</td> </tr> <tr> <td>実績 b</td> <td>227.5</td> <td>228.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>b/a(%)</td> <td>91.2</td> <td>91.7</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	目標の達成度	令和4年度	令和5年度	事業最終年度	計画 a	249.5	249.5	249.5	実績 b	227.5	228.9	-	b/a(%)	91.2	91.7	-	
	目標の達成度	令和4年度	令和5年度	事業最終年度															
計画 a	249.5	249.5	249.5																
実績 b	227.5	228.9	-																
b/a(%)	91.2	91.7	-																

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主 な 事 業 内 容 ごと の 決 算 額	成 果 指 標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
5	(単)身近な道改善事業 （ H25 ～ ） 道路保全課 住民の生活に密着した道路の利便性・安全性を低コストかつ短期間で向上させるため、路肩の拡幅や簡易歩道整備等の小規模な改良及び通学路安全対策を実施する。	①歩行を阻害する植樹帯の見直しや防草処理 65箇所 ②蓋付き側溝の新設・既設側溝への蓋掛け 13箇所 ③既設道路敷を利用した路肩拡幅や簡易歩道の設置 18箇所	① 509,500 ③ 142,700 ② 147,800 ④	完了箇所数 [箇所]	目標値	100	100	100	B
			主な活動指標と達成率 [箇所]		達成率	92.0%	96.0%	-	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 800,000 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 800,000 (0)	着手箇所数 [箇所]	目標値 100 実績値 96 達成率 96.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和5年度は、路肩拡幅や防草対策による視距改善など96箇所対策を完了した。 当該事業に対する地域の要望は多く、引き続きニーズにきめ細かく応えられるよう取組を推進する。					
		目標値 実績値 達成率							

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																					
6	交通安全事業 （ ～ ） 道路保全課 道路利用者の安全を確保するため、歩道の設置や防護柵、道路標識、道路照明などの交通安全施設の新設及び維持補修を実施する。	①(公)交通安全事業 歩道、自転車歩行者道、交差点改良、電線共同溝等 ②(単)交通安全事業 道路附属物の整備、交通安全施設の維持・補修、カラー舗装等の交通弱者事故対策等 ③(単)側溝整備事業 排水溝未整備箇所の整備、排水溝の断面改修、流末修繕等	「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき、歩道・自転車歩行者道の整備、交差点の改良、道路標識の設置等、交通安全施設を整備し、通学生をはじめとする歩行者等の安全の確保と交通事故防止対策を実施した。 今後も、通学路の危険箇所等において計画的に対策を推進する。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>区分</th> <th>令和5年度事業実施路線</th> <th>事業実施箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(公)交通安全事業</td> <td>交通安全</td> <td>国道213号 ほか29路線</td> <td>全38箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(単)交通安全事業</td> <td>交通安全2種</td> <td>国道197号 ほか県内一円</td> <td>県内一円</td> </tr> <tr> <td>交通安全施設維持</td> <td>国道197号 ほか県内一円</td> <td>県内一円</td> </tr> <tr> <td>弱者事故対策</td> <td>国道210号 ほか県内一円</td> <td>県内一円</td> </tr> <tr> <td>(単)側溝整備事業</td> <td>側溝整備</td> <td>国道213号 ほか県内一円</td> <td>県内一円</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	区分	令和5年度事業実施路線	事業実施箇所数	(公)交通安全事業	交通安全	国道213号 ほか29路線	全38箇所	(単)交通安全事業	交通安全2種	国道197号 ほか県内一円	県内一円	交通安全施設維持	国道197号 ほか県内一円	県内一円	弱者事故対策	国道210号 ほか県内一円	県内一円	(単)側溝整備事業	側溝整備	国道213号 ほか県内一円
	事業名	区分	令和5年度事業実施路線	事業実施箇所数																				
	(公)交通安全事業	交通安全	国道213号 ほか29路線	全38箇所																				
(単)交通安全事業	交通安全2種	国道197号 ほか県内一円	県内一円																					
	交通安全施設維持	国道197号 ほか県内一円	県内一円																					
	弱者事故対策	国道210号 ほか県内一円	県内一円																					
(単)側溝整備事業	側溝整備	国道213号 ほか県内一円	県内一円																					
予算額 (うち翌年度繰越額) 5,338,825 (1,840,248) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 3,498,577 (1,832,530) (1,520,372)																								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-5-(2)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
7	交通安全施設整備費 (S46 ~) 交通規制課 道路交通の円滑化を図り、安全を確保するため、信号機や道路標識など交通安全施設の整備を行う。	①信号機の新設・改良（新設4基、改良48基） ②交通管制の整備・情報収集用車両感知器等の整備（車両感知器更新35式、集中制御機更新4基） ③道路標識の整備（横断歩道11.17km、実線26.57m、エスコートゾーン180.0m） ④道路標識の整備（329本）	① 282,771 ③ 92,974	交通事故死傷者数 目標値 3,800 実績値 2,836 達成率 125.4%	3,800	3,800	2,900	A			
			② 94,532 ④ 52,016		達成率	2,836	2,799		—		
			主な活動指標と達成率 信号機の新設数			目標値 4	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 全国で統一された信号機設置基準を厳格に適用し、交通環境に応じた信号機の設置や撤去を推進するとともに、地域住民の要望に応じた信号機の運用変更などの改良や渋滞状況を把握するための車両感知器等の更新、道路標識等交通安全施設の整備を推進し、道路交通の円滑化及び交通事故防止を図った。 引き続き安全で安心な交通社会の実現のため、交通環境の変化に対応した交通安全施設の整備を推進する。				
			[基]			実績値 4					
道路標識の整備数			目標値 300								
[本]			実績値 329								
予算額 (うち翌年度繰越額) 780,116 (123,182) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) (54,242) (232,009)			達成率 109.7%								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
8	思いやりの横断歩道整備事業 (R3 ~ R5) 交通規制課 歩行者に安全かつ快適な交通環境を提供するため、摩耗の進んだ横断歩道の更新や人感ライトのLED化など、令和5年度まで集中的な更新・整備を実施する。	①摩耗した横断歩道の更新（信号機のない場所を中心に1,526本） ②歩行者を照らす人感ライトのLED化（47箇所）	① 49,786 ③	横断歩道上の歩行者事故件数 目標値 128 実績値 86 達成率 132.8%	128	128		A			
			② 25,709 ④		達成率	86	108				
			主な活動指標と達成率 横断歩道更新数			目標値 1,200	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 摩耗した横断歩道については、ブロック別に施工するなど、効率的な事業執行に努めたことで目標を超える箇所数を更新できた。また、人感ライトのLED化も計画どおり実施できた。 令和6年度からは「交通安全施設整備費」の中で、引き続き地域住民の要望のほか、交通環境の変化に対応しながら、計画的な更新・整備に取り組む。				
			[本]			実績値 1,526					
人感ライト更新数			目標値 47								
[箇所]			実績値 47								
予算額 (うち翌年度繰越額) 85,709 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 75,495 (6,055)			達成率 100.0%								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針
9	交通事故遺児救済援護活動助成事業 (S48 ~) 生活環境企画課 交通事故で親を失った子ども（交通遺児）を支援するため、大分県交通事故遺児等援護基金を財源とし、大分県交通安全推進協議会が実施する交通事故遺児救済援護事業に対して補助する。	①大分県交通安全推進協議会補助 大分県交通安全推進協議会が実施する交通事故遺児救済援護事業に対する補助 ②大分県交通事故遺児等援護基金積立金 大分県交通事故遺児等援護基金への積み立て 大分県交通安全推進協議会補助金の内容 ・新規交通遺児激励金：2万円 ・入学祝金（小・中学生）：5万円 ・修学旅行助成金：小学生2万円 中学生3万円 ・中学卒業祝金：10万円 ・育英支援金の贈呈（中学校卒業後の3年間・年度当初に）：3万円 等	大分県交通安全推進協議会が交通遺児へ給付する小中学校入学祝金、修学旅行助成金や中学校卒業祝金等の救済援護事業に対して補助し、令和5年度は33人に支給した。 引き続き、交通遺児が健やかにたくましく成長できるようこの取組を継続する。